

2023 年度(第 44 回) 日本 EU 学会 研究大会

第 1 日 11 月 25 日 (土) 愛知大学 開場・受付開始 12:30

理事会 11:00-12:45		
共通論題 ウクライナ問題と EU 前 半 13:00-14:50 日本語セッション ※ 司会者の主旨説明 10 分		
報 告	論 題	司 会
土田陽介 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)	13:10-14:00 30分報告・20分討論 ウクライナの戦後復興に関する経済的論点：特に通貨政策に関して	岡部みどり (上智大学)
渡邊 啓貴 (帝京大学)	14:00-14:50 30分報告・20分討論 「冷戦後の欧州安全保障体制の変遷の中でのウクライナ危機—EU・OSCE・NATO 関係と EU の戦略的自立—」	
休 憩 14:50-15:00		
総 会 15:00-15:30		
後半 15:30-17:45 英語セッション ※ 司会者の導入 10 分 / 予備 10 分		
Peter van Elsuwege (Ghent University)	15:40-16:40 40分報告・20分討論 The Legal Framework of EU-Ukraine Relations: From Association to Membership?	Yumiko Nakanishi, (Hitotsubashi University)
懇親会 18:00~20:00		

第2日 11月26日(日) 開場・受付開始 9:30

分科会 10:00~12:30 20分報告・15分質疑			
分科会名	報告	論題	司会
分科会 1	西垣秀樹 (三井住友 DSアセット マネジメント)	ユーロ圏のコアインフレ率に関する構造 VAR 分析	太田瑞希子 (日本大学)
	花田エバ (神戸大学)	COVID-19 パンデミックによる中東欧の EU 加盟国の銀行市場へのインパクトについて	
	龍花 務 (早稲田大学・院)	店頭デリバティブ取引規制と英国外交 —市場分断化の危機克服を目指した英国・日本を中心に—	
分科会 2	木村ひとみ (大妻女子大学)	ウクライナでのエコサイド(環境犯罪)をめぐる EU 法の挑戦 —国際刑事法への貢献と復興に向けた環境協力への示唆—	大道寺隆也 (青山学院大学)
	植村充 (東京大学・院)	EU による移行期正義の追求とその含意 —ロシアに対する特別国際法廷の動きを手掛かりに—	
	安田知夏 (東京大学・院)	EU 文化政策における主要 2 機関間の関係性 —2010 年代を中心に—	
	山本直 (日本大学)	EU のデジタル世界像認識 —デジタルの権利および原則に関するヨーロッパ宣言を手がかりにして—	
分科会 3	シュウ ミン (早稲田大学)	EU-China Relations amid the Ukraine Crisis (ウクライナ危機中の欧中関係)(英語報告)	河越 真帆 (神田外語大学)
	富田健司 (九州大学・院)	欧州議会各会派の「ヨーロッパ」像 —主流派と欧州懐疑派・「ポピュリスト」間の対立と相互作用に着目して—	
	吉沢晃 (関西大学)	国家補助規制の分野における欧州委員会のパンデミック対応	
昼食・休憩/理事会 12:40~13:30			

総会 13:35~13:50

公開シンポジウム エネルギー危機下のEUの財政・金融政策とユーロ
14:00-16:30 (日本語)

パネリスト

論題

司会 高屋定美 (関西大学)

報告者 堀尾健太 (電力中央研究所)

田中理 (株式会社第一生命経済研究所)

中空麻奈 (BNPパリバ証券)

斎藤智美 (名城大学)

討論者 神江沙蘭 (関西大学)

※ 公開シンポは非学会員に無料開放。